

【アゼルバイジャン経済トピック第 136 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 4 月 26 日

農業ビジネス関連情報

～国際展示会の開催、パシャグループ企業～

これまで累次報告のとおり、アゼルバイジャンは果樹・野菜、穀物、綿花栽培や畜産等の盛んな農業国です。近年、欧州各国やイスラエルからの投資・技術協力を得て、トマト、ヘーゼルナッツ、ザクロワイン・ジュース等の農産品・加工食品の生産・輸出が伸長しています。

以下、農業ビジネス関連情報をお伝えします。

1. 国際展示会の開催

5 月 17～19 日、第 16 回アゼルバイジャン国際農業展示会「Caspian Agro」及び第 28 回アゼルバイジャン国際食品産業展示会「InterFood Azerbaijan」がバクーで開催されます。

(ウェブサイト) <https://caspianagro.az/> <https://interfood.az/>

当国の主な農業・食品関連企業が出展予定ですので、ぜひご来訪ください。

2. パシャグループの農業関連企業

当国最大の財閥であるパシャグループ(アリエバ第一副大統領(大統領夫人)の実家)は、農業・食品関連ビジネスも手広く展開しています。その一つ、Agro Food Investment 社は自社でトマトを生産・輸出するほか、10 の子会社でオリーブ油、アーモンド、ヘーゼルナッツ、バラ・バラ精油、リンゴ・洋ナシ等果樹、茶の生産、並びに酪農、組織培養ラボ、冷蔵倉庫事業を経営。このほか、姉妹会社が果物・野菜の缶詰・瓶詰、肉類等の加工食品の生産を行っています。

Agro Food Investment 社(ママドフ社長が先日、農業大臣に就任)のノブルゾフ副社長は、「新しい経験・技術を学ぶ意味で、外国企業との提携を歓迎している。日本企業からもトマトに限らず、広く農業関連での諸提案(新品種、肥料・農薬・資機材の販売、産品購入等)があれば、グループ企業に繋ぐので遠慮なく当方までコンタクトいただきたい」と述べています。

(連絡先) Mr. Vahid Novruzov, Deputy CEO

Vahid.Novruzov@agrofoodinvest.az

Mob, WhatsApp +994-50-336-9911

因みに同社は、ソ連時代からトマトの産地として有名なバクー市ジラ(Zirə)町にある10haの温室(Baku Agro Park)で Fujimaru、Romello、Cerasiforme(チェリートマト)の3種のトマトを栽培。昨期生産量7,300トンの70%を輸出(主にロシア各地及びベラルーシ向け。最近ポーランド、シンガポールへも輸出開始)しているとのこと。



(以上)